

活動事例

産業界支援

石膏型を使った新製品開発活動支援

支援先

石膏研究会 18 社

【内 容】

当センターでは産地人材育成支援のひとつとして石膏研究会（参加 18 社・代表：阿部慎太郎）を支援しています。

笠間焼窯元の他セラミック製品メーカーの会員と、学生との交流の場としても期待されます。

●コア技術・機器による支援

当センターが保有する技術ノウハウや石膏機器等を提供し、石膏型が得意とする細やかな表面形状の再現，原型から使用型を複製することにより得られる量産性や，使用型を複数割型することによる複雑な形状成形などについて，試作支援を行いました（図 1）。

●新しい笠間焼の発信

石膏型成形による試作成果として，現代の生活とマッチした工芸品として水戸エクセル「Autumn Special excel×Kasamayaki」のシーズンポスターに起用されるなど（図 2），多品種少量生産の産地特徴を活かした結果が得られています。



図 1 石膏型の試作



図 2 ポスター

基礎となった事業

平成 28 年度 笠間陶芸大学校事業

現在の担当部門

人材育成部門

部 門 長

尾形 尚子

TEL:0296-72-0316

特 任 教 授

佐藤 雅之

主任研究員

常世田 茂

活動事例

産業界支援

日韓陶芸交流展 in Kasama
「400年の絆」開催支援

支援先

日韓陶芸交流展実行委員会，韓日文化コンテンツ交流会

【内 容】

当センターでは，韓国の陶芸家と陶芸に関する交流を行いたいがどのように進めて良いか分からないとの相談を受けて，笠間市や陶芸美術館など業界や地域と連携した産地振興の一環として橋渡し支援を行いました。

韓国から陶芸家 10 人が来日し，作陶における考え方，技法の違い等を学ぶことができ，お互いの陶芸の良さを理解し合い，今後も切磋琢磨していく予定です。また，アジア等からの問合せも多々あり，海外から笠間の焼物へ関心が高まっています。新聞掲載(11/2, 11/11 茨城新聞)



図 1 チラシ 図 2 スライドショーとトークの様子 図 3 陶芸美術館での展示 図 4 笠間工芸の丘での販売
・ 11/8～20 市内ギャラリーでの展示販売 ・ 11/9～13 日韓陶芸交流展 in Kasama（県陶芸美術館）
・ 11/13 韓国陶芸家によるスライドショーとトーク，手びねりとロクロ実演 等

基礎となった事業

平成 28 年度 試験研究指導費（技術相談）

現在の担当部門

笠間陶芸大学校

学 校 長

金子 賢治

TEL:0296-72-0316

副 校 長

佐藤 茂

人材育成部門

部 門 長

尾形 尚子